



TERRAとも
NPO 法人 地球市民友の会

第 34 号

2019(令和1)年 10月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX: 0466-44-0452 Eメール: npo.terratomo@gmail.com HP: http://www.terratomo.com

お寺に泊まって、世界を知ろう！

バーベキュー、花火、坐禅、お話、流しそうめん・・・価値ある体験が一杯

8月24日(土)と25日(日)、12回目のお泊り会を開催した。今年のお泊り参加の子どもたちは、昨年より増えて40名になった。また、バーベキューのみの参加17名と流しそうめんのみの参加17名を合わせると、イベント参加者は延べ77名にのぼった。

では、お寺に泊まって世界を知ろう(お泊り会)の様子を写真で紹介します。



僧衣を作業着に着替えたい竹を チェンソーで切り込みを入れ、節を抜いて樋作りに汗！ 流しそうめんの最中にケガをしないよう仕上げは念入りに切る和尚さん



これを2本作りました！ 「良くできたね」と笑顔のにわか職人!? 受付、いよいよスタート 楽しい中にも規律ある生活を！



格的 BBQ モクモク&モグモグ うま〜！ ジャンボステーキ登場 大勢なので焼きが大変、教室の生徒さんもお手伝い



日本の夏は 花火だね♪ 花火に興じる姿が印象的。夏の夜の楽しい思い出 肝試しに最高の舞台？「キャー」「こわ〜い」でも楽しい



昨夜の雨も上がり、清々しい朝を迎えました
6時 全員元気に起床



お世話になっているお寺を気持ちを含めて掃除です。慣れないほうきでの掃き掃除、雑巾を絞って縁側のふき掃除、掃除機で隅々までお掃除しました。上級生が下級生をリードしながら取り組むほほえましい場面がありました。HOPのお兄さんお姉さんはBBQの後片付けに一生懸命でした。



和尚さんが丹精込めて作ってくださったお粥をいただきました
食事修行の内、家庭では味わえない朝食、作法を学びました

黙って、動かないで、長く座って、これがなかなか・・・喝！
静まりかえった本堂で聞こえるのは和尚さんの足音とセミの声



地球の反対側の国ペルーは・・・ビンゴゲーム、運不運にワクワク
(後で具体的に)

HOPのお兄さんお姉さん有り難う

これぞ大流しそうめん大会!!
お泊り会はこれにて お開き

お泊り会の企画・運営等にお力添えくださったボランティアの皆様には厚く御礼申し上げます。

【参加者の声】

- ・はなびがたのしかった。 ・ながしそうめんのしかったです。 ・おとまりかい、はじめはちょっときんちょうしたけど、なれてきたらみんなでいっしょに せいかつできるようになりました。 <1年>
- ・おとまり会、さいしょは、ちょっとだけさみいかったけど、たくさんおともだちをつくれてうれしかったです。バーベキューも、おいしかったです。ながしそうめんもたのしかったです。らいねんも、きたいです。「せかいを知ろう」の時かんは、ペルーのことやペルーにあるものを知れてよかったです。<2年>
- ・花火とみんなとあそんでたのしかった。かぶとむしがみつかった。またきたいです。 ・坐禅がいち番たのしかった。
- ・きもだめしがこわくて楽しかったです。<3年>
- ・いろいろ体験ができてとてもよかったです。たとえば、ざぜんや、朝食では、苦手なものも食べれました。初めてのきもだめしたのしかったです。
- ・こんかいはとっても楽しくてワクワクするお泊りでした。とくにきもだめしがいちばん楽しかったけどもとおぼけをこわくしてほしいです。でもちょう食もバーベキューもごはんがおいしかったし、とっても楽しかったです。楽しませてくれてありがとうございました。 <4年>
- ・とにかく楽しかった！肝試しは、みんな（9人？）で行きました。1人目の、仮面をかぶった人のえんぎがすばらしかったです。お楽しみ会のビンゴでは、学生さんがとてもがんばってくれました。新しい友だちもできました♪<5年>
- ・みんなといられた時間は最高でした。1日目にあんまりみんなとふれあえなかったけど、花火で楽しんだり、肝試しでビックリしました。2日目には、みんなと仲良くできてよかったです。ざぜんはちょっくらいたかったです。お楽しみ会のビンゴ大会も流しそうめんも楽しかったです。みんなとはお別れですが、また会いたいです。
- ・僕は坐禅が一番心に残っている。理由は坐禅をすると心が白になって すがすがしくなるからだ。今回は本当に楽しかったです。ありがとうございました。 <6年>

<大学生>

- ・今回お泊り会に参加するのは2回目だったのですが、今年の子どもたちは去年に比べてたくさん来てくれたので大変でもありとても楽しかったです。特に印象的なのはこどもたちみんな きちんとお礼を言えていたなと思いました。また、こどもたちの中で上級生の子たちがお手伝いを積極的にしてくれたり、下級生をリードする場面がたくさん見ることができたので良かったです。今年の肝試しも自分自身とても楽しめたので本当によかったと思います。
- ・今年で3度目の参加でしたが、今までで最もこどもたちの人数に対して大学生が少ないのではないかと不安がありましたが、清掃の時は、こどもたちが大活躍してくれ、たくさんお手伝いをしてくれました。反省点としては、肝試しの脅かす方法をきちんと計画して高学年の子供たちにも驚くものを作りたいと思いました。

ペルーで海外青年協力隊の活動に参加したこと

お泊り会2日目、藤沢市役所に勤務されている田崎丸美さんが、海外青年協力隊の一員としてペルーで活躍された三年間のお仕事やペルーの人たちの生活の様子、そして子供たちの学校生活などについて、またペルーの民族楽器の演奏を交えた興味深いお話にこどもたちは真剣な眼差しで聞いていました。



<こんなお話・やり取りがありました>

ペルーの国旗の説明から、ペルーで使う言葉、有名な動物、観光地、国の位置、気候、田崎さんが住んでいた所、市役所での仕事、学校で環境教育に授業したこと、ペルーの人が好きなスポーツ、アニメ、ペルーで困ったこと、ペルーの民族楽器や食事・フルーツ等、写真を駆使し、こどもたちとキャッチボールしながら分かり易く話を進めてくださいました。最後に、民族楽器のケーナで「コンドルは飛んでいく」を演奏。こどもたちはその音色に聞き入っていたのが印象的でした。

<キャッチボールの例>

田崎：ペルーはどこにある？（地図を指して）ここ？・・・あそこ？ 子供：？ ？

田崎：正解を見せます。そう、地球の反対側にあるのね。

田崎：では、ペルーまでどうやって行く？ 子供：飛行機で！

田崎：直接行ける？ 子供：いけな～い

田崎：とっても遠いの。だからアメリカで乗り換えて、もう1回飛行機に乗らなければいけません。
1日かけて行きました。

田崎：次のクイズです。ペルーと日本、どっちが広い？ 子供：ペルー！？ 日本？
ペルーの方が広いと思う人？ 日本が広いと思う人？

どっちもいるね、正解はペルーでした。ペルーは大きい国で、日本3個分、3倍あります。

田崎：（ケーナ演奏の後）「ありがとう」ってスペイン語で何というの？ 子供：グラシアス

そう、グラシアスですね。本当にありがとう、「本当に」というのは「ムーチャス」をつけるの。

「ムーチャス グラシアス」さあ、言ってみよう、さあ！ 子供：（大声で）ムーチャス グラシアス！
とても良かったです。ありがとう。

私のブラジル滞在記(2)

2005年～2011年までサンパウロに在住し、私の中のラテン気質が目覚めた！

日本語友の会の日本語ボランティア 川端めぐみ

音の洪水！！

サンパウロに住み始めてまずびっくりしたことは音のすごさでした。朝、夕の渋滞時、車のクラクションがあちこちで聞こえてきます。緩和措置として渋滞時の2時間程度、月曜はナンバープレートの末尾が1, 2, の車、火曜は3, 4, というように番号を定め通行禁止にしています。交差点などで警官が違反者をチェックし、後日罰金命令の封書が届きます。ただ、お金のある人は末尾の違う数台の車を交代で走らせているからあまり意味がないとも言われています。

そして、路上駐車している車も時折り、ウォーンウォーンと恐ろしい音を響かせています。これは、盗

難防止のセンサーですが、誤作動も多いようで（さすがブラジル）一日に何度もこの騒音を耳にします。

余談ですが、私のブラジル生活が3年ほど経ったころでしょうか？「あのセンサー音、最近聞かないよね。」と、友人に話すと「そんなことないよ、慣れただけ。」と言われ、恐るべきヒトの適応力！を実感したのもブラジル生活ででした。

あとは水曜日と土曜日の夜、どこからともなくウォーっ！！という人の雄叫びがこれまたあちらこちらで聞こえます。これは、サッカーシーズンでのこと、それぞれご最員のチームを応援する叫びです。勝利の夜は住宅街にも関わらず爆竹や花火でますますにぎやかになります。初めて耳にしたときは銃声かと思いきろしかったです。

サッカーといえば、ワールドカップの時はほんとうに驚きました。ブラジルが対戦する時間帯はバスも止まり、銀行も営業休止です。企業は従業員を観戦に間に合うように家に帰すか、社内に設置の大型スクリーンで観戦させなくてはなりません。マフィアが、刑務所内の同士にワールドカップ観戦のためのテレビを置くよう要求し、警察署を襲ったというウソのような恐ろしい事件もありました。ちょうど日本人学校の帰宅時に重なっており、子どもたちが無事に帰るまでは気が気ではありませんでした。



ことばカルチャ

「マリンバ」とは？

アフリカの女神がつくった楽器？ マリンバは、大昔のアフリカで、地面に穴を掘って木の板を渡し、たたいて音を出したことから始まったと伝えられています。一種の木琴として誕生したのです。その後、木の板の裏にひょうたんを付けるようになり、ひょうたんで音を響かせるようにしたのです。このかたちの楽器は、今でも民族楽器として親しまれています。ちなみに、南アフリカのズールー族には、マリンバという名前の女神がひょうたんを付けた木琴をつくった、という伝説もあるといわれています。「リンバ」はアフリカのバントゥー語群で、木の棒を意味し、「マ」が多数の数を表す接頭語。「マリンバ」は、多数の木の棒から成る楽器をあらわしています。

現在の形のマリンバが生まれたのは、グアテマラであると言われていいます。またメキシコ等南米でもマリンバが古くから演奏されており、メキシカン・マリンバとして民族音楽のスタイルを形成しています。

アメリカでマリンバになった！ マリンバの原型となった楽器は、アフリカの人々とともに海を渡り、中南米にたどり着きました。そこで、ひょうたんが木の共鳴パイプに変わります。そしてさらにアメリカで金属製の共鳴パイプが付けられるようになり、現代のマリンバになったのです。



(参考：ヤマハの楽器解体全書&ウィキペディア)

これからの主な行事・お知らせ

☆MINTOMO 交流会 日時： 12月 7日(土) 場所：湘南台公民館 10:00より

☆年末国際交流会 日時： 12月29日(日) 場所：東勝寺 18:30より

上記行事のボランティアを募集しています！ 皆様のお力をお貸しください

MINTOMO 交流会でのもちつき、年末国際交流会での会場づくりや運営スタッフを募集しています。ご協力お願いします

FAX かメールでご連絡ください

FAX : 0466-44-0452 Eメール : terratomo@gmail.com

